

第1620号 2022年9月5日
☆帝国主義国、植民地従属国、「労働者国家」の階級闘争を世界プロ独一世界共産主義の勝利へ！
共産主義者同盟（統一委員会）

革命万葉

発行所 戦旗社
 編集発行人 鹿島 昂
 東京都立区綾瀬7-2-11
 電話 03 (6876) 6136
 郵便番号 00180-4-176133
 http://www.bund21.org
 今号 6 頁 200 円
 年間購読料（送料込）
 開封 6,300 円 審査 7,000 円

3面：共産同（統一委員会）第六回大会を開催
 階級闘争と党建設の新たな飛躍を誓う
 4面：第二六回参院選の評価
 改憲一戦争を許すな！ 安倍国葬粉碎！
 反帝国际主義で岸田政権を打倒しよう 時田三郎
 6面：今こそ労働者は反戦・国際連帯に立ち上がろう 小原薰

り返してきた集団だ。
 感情法詐欺や信者のへの法外な献金強要で人民を生活破壊するなど、極めて反動的かつ悪質な所業を繰り返してきた。また靈廟を拡大した。また靈廟を拡大した。

第一に、安倍国葬反対を行った。國の予算を使う以上、法的根拠が当然にも必要だ。岸田政権は、國の儀式に安・改憲NO！ 総行動実

統一教会との癒着や安倍國葬の閣議決定は、労働者人民の安倍独裁政治への批判、自民党と統一教会の癒着を弾劾する怒りの声となつて岸田政権を直撃し、国葬反対の政治行動が一気に活性化している。

安倍国葬反対の全人民的決起を

反共犯罪集団としての統一教会の本性をよくわかつた上で、岸信介や笛川良一の流動のなかで、反帝主義に貫かれた反戦闘争、改憲阻止闘争、沖縄解放一边野古新基地建設阻止の政治活動を大学や街頭で展開し、組織を拡大した。また靈廟を拡大した。また靈廟を拡大した。

第一に、安倍国葬反対を行った。國の予算を使う以上、法的根拠が当然にも必要だ。岸田政権は、國の儀式に安・改憲NO！ 総行動実

原発再稼働を阻止しよう

10・9三里塚全国集会へ

農地強奪阻止

反共犯罪集団＝統一教会と癒着する自民党

日本帝國主義による「台湾有事」煽動と対決する反戦・国際反帝闘争として一月2022年国行動の成功に向か、アジア共同行動日本連の仲間と共に準備を進めよう。

米帝－バイデン政権の「台湾有事」煽動が繰り返され、戦争危機が醸成される情勢下、統一教会批判－国葬批判が階級情勢を転換させ、労働者人民の政治決起を促進している。安倍国葬反対の全人民的政治決起の先頭で闘って決起していく。

全国で闘う同志・友人の皆さん！

七月八日、安倍が銃殺された。銃撃犯の供述から統一教会と安倍、自民党との癒着構造が発覚した。参議院選挙で勝利し、一〇月からの臨時国会から改憲・戦争体制構築に突き進もうとしていた岸田政権は失速し、支持率は低下、一転窮屈に追い込まれている。

岸田は、安倍派など右翼・排外主義勢力とも連携し、改憲を利用するはずであった「安倍国葬」は、反対世論が上回っている。批判をかわす狙いの内閣改造も失敗に終わっている。また岸田政権は、経済を回すとして、医療提供体制の強化などのコロナ対策を放棄し、労働者人民の困窮や犠牲を放置している。

米帝－バイデン政権の「台湾有事」煽動粉碎、辺野古新基地建設阻止、岸田政権打倒を掲げ、街頭政治闘争に断固として決起していく。

岸田政権打倒に立ち上がろう

改憲阻止！

辺野古新基地建設阻止

「攻撃能力」の保有など戦争体制強化を打ち出そうとしている。大防衛費の大幅増額も着々と進められている。すでに岸田政権は、防衛費の大幅な増額を表明しており、五年間で二倍に増額する大軍拡が打ち出されている。防衛省が八月末にまとめた二〇二三年予算概算要求を過去最大の五兆五九四七億円とし、加えて金額を示していない「事項要求」も一〇〇件超盛り込もうとしている。

岸田政権は、防衛費の大幅

な増額を表明しており、五

年間で二倍に増額する大軍

拡が打ち出されている。すでに

防衛費の大大幅増額も着々と進められている。すでに

岸田政権は、防衛費の大幅

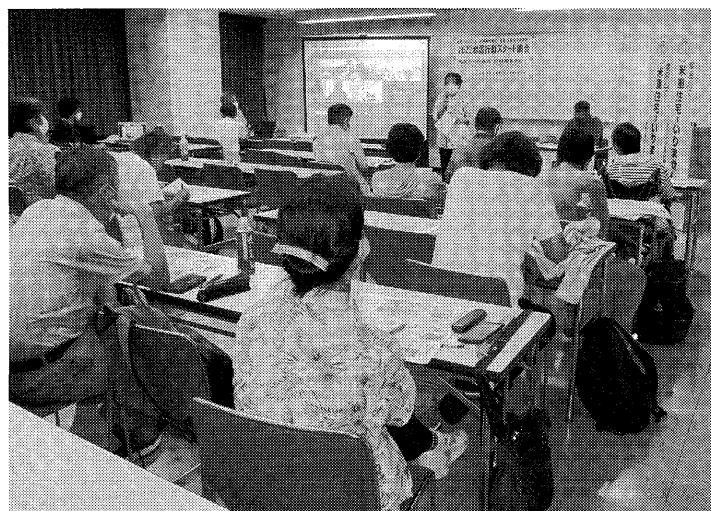
な増額を表明しており、五

今年も「2022岩国行動スター集会」が大阪で開かれ、関西や東京、山口から参加と、さらにリモー

7・29 大阪

2022岩国行動スタート集会

関西、東京、山口から参加



2022 岩国行動の開催に向けたスタート集会（7月29日 大阪）

A black and white photograph of a person in traditional Japanese clothing standing next to a large white banner with vertical text. The banner reads "100年歴史のまち 滋賀県高島市" (100-year-old city Shiga Prefecture Kōshū City). A megaphone is on the ground to the left.

反核、反原発、岸田政権批判の声が次々にあがった
(8月6日 原爆ドーム横)

亡くなつた被爆者・一世、支援者の遺影を展示了。多くの人が足を止め遺影やパネルを見ている。青空式典は被爆三世の司会のもと始まった。

被爆77年 8・6広島青空式典

日韓同時行動として大成功！ ウクライナ戦争即時停戦！
被爆者援護法にもとづく被爆一世・二世・三世の援護を求める

④被爆一世運動の成果。最後に「日韓同時行動」として、今年もこの8・6広島青年式典を取り組む。共に闘おう」と訴えた。

帶して、オール沖縄勢力の
更なる前進と基地撤去を勝
ち取ろう！ 最後に広島G
アサミットに反対しよ
う！」と訴えた。

「核共有」論 広島でのG

反帝国際連帯運動推進し 2022岩国行動の成功を

第六に、反帝國際連帶――ASEANなどアジア諸国
AWC日本連の鬭いを、排外主義と戦争強化が激化する情勢下、拡大を勝ち取つて行こう。
中国に対する不信と憎悪が煽動され、日米帝国主義の对中国戦争策劃が、韓国、今こそ、AWC日本連が
も巻き込んで強まっていく。排外主義が煽られ、中国につくのか米帝につくのかの選択が、戦争危機の深まりとともに一層激しく迫られる状況となつてゐる。

反帝國主義・國際主義の実

されなければならない。米軍こそ戦争放火犯であり、アジアから放逐しなければならない。
とともに、労働者人民を組織し、2022岩国行動を成 功させよう。アジア人民連帯・アジア米軍総撤収の旗の下、労働者人民の結集を大・強化された岩国基地に、かち取ろう。

メイン講演は、岩国の大村紘玄さんによる約三〇分間のピテオ講演だった。田村さんは、住民の悲願をいわば悪用して岩国基地は嘉手納をしのぐ国内最大の米軍基地になつたと前置きして、岩国をめぐる現在の状況を報告した。岩国では、倍増した米軍機とともに外来機の飛来が増加し、岩国基地の爆音被害問題は岩国だけの問題ではなく広範囲に被害をもたらしていることだ。米軍はただ飛行するのではなく「この地域を支配する気持ちで飛行する」と、田村さんは述べた。岩国では第二次爆音訴訟の準備が進んでいる。岩国の爆音訴訟はこれを告発し、米軍機と自衛隊機の飛行差し止めを求めて闘われる。また、米大型艦船が相次いで岩国基地に訪問している。これは一時的なものではなく定期的訪問だ。岩国

のF35Bはこれら強襲揚陸艦アメリカやトリポリに載つて作戦行動に出していく。それは偶然ではなく意図的なもので、台湾、朝鮮半島、中国をめぐる有事と岩国基地が密接に連動し始めたと、田村さんは指摘した。オブブレイに加えて、海洋偵察用無人機トライトン配備も岩国が拠点になるため、新たな岩国基地の拠点化に対する手を携えて反対しているこうと訴えた。

このような中で、岩国市民は愛宕山米軍住宅建設反対闘争の中で始まつた愛宕山見守りの集いを今も毎月三回行つてゐる。その場が岩国と周辺地域の市民運動の情報交換と相互連帯のための重要な広場となつていて、田村さんは強調した。

続いて、実行委から岩国委員会は全国に賛同を呼びかけている。ぜひ協力し、黄

④被爆二世運動の成果。最後に「日韓同時行動として今年もこの8・6広島青式典を取り組む。共に闘おう」と訴えた。

統いて、全国被爆二世協とAWC韓国委員会からの連帯メッセージを読み上げた。併せて、前日にソウルの日本大使館前で韓国側の抗議行動が四七団体の賛同を得て行われたことが報告された。

いよいよ参加者各団体・個人からの発言だ。

AWC日本連は、「アジア規模で戦争も基地も差別も貧困も無くしていく闘いを三〇年行つてきた。岸田政権を打倒し改憲を許さない。極右安倍元首相は、銃弾に倒れたが、私たちは全人類の力で自公政権を打倒していく。統一教会と自民党の癒着、腐敗を許すことなく『アベ国葬反対』の声をあげていく。沖縄の人々と連

大阪の被爆二世は、「維新の会の松井代表が、『核共有』と言つたが、これは非核三原則のうちの『核を持ち込ませない』に違反する。放射能の被害を知つている被爆二世としてこの発言を絶対に許すわけにはいかない。教育の現場は政府の憲法違反にすぐに荷担させられる。岸田政権は、安倍元首相の国葬を閣議決定した。國葬令は既に廃止されており、国葬そのものが憲法違反だ。こんなことに税金を使つてはならない」と話された。

憲法を活かす市民の会やまぐちは、松井市長が和宣言でトルストイの「人間の不幸の上に自分の幸運を築いてはならない。他の幸福の中にこそ、自分の幸福もあるのだ」を引用して、日本憲法の前文の精神と全く同じだ、と述べた。アジアの人々を犠牲にし、自分たちの幸せを得ようとしたのが、近代日本の歴史であった。憲法九条と平和憲法を作った。決して押し付け憲法か

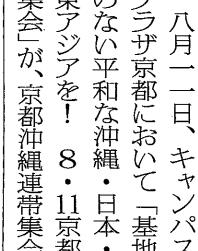
帶して、オール沖縄勢力の更なる前進と基地撤去を勝ち取ろう！ 最後に広島G7サミットに反対しようと「核共有」論、広島でのG7サミットを批判した。そして「広島・長崎に原爆をさせた原因是、日本帝主主義のアジア侵略戦争で作ったことを肝に銘じて」とさせた原因は、日本帝主主義のアジア侵略戦争で作ったことを肝に銘じて」と話された。

音ひ行や国毎行み仲報基た告今衝 わ田 れを複つて時る

でうて。がらの同国しの入福他平・鬪あ国落しノシわ統

8 · 11 京都

基地のない平和な沖縄・日本・東アジアを
130人が参加し、集会・デモ



実行委員会の主催で開催され、約二三〇人が参加した。集会では、高良鉄美議長（参議院、沖縄の風）が「沖縄復帰五〇年の現実とアーティスト知事再選に託す沖縄の未来」と題して講演した。高良さんは、沖縄の戦後の歴史を振り返りつつ、「米軍の沖縄占領状態は今も続いている。沖縄の住民は『米軍の延命運動や日米同盟に支障のない範囲で』生活の自由を保障されている。日米地位協定や辺野古での新基地建設強行はその一例だ」と語り、「アーティスト知事が次の知事選挙で再選されないと沖縄は大変な状況になる。ぜひ投票を選させたい」と講演を締めくくった。

ではない。日本人が二度と加害者にならないと決意してやまぐち障害者解放センター、福岡の仲間の発言がち
けた。

世界第三位の軍事大国にな
うとしている。中国を敵
視し脅威を与えている。岩
国基地が侵略戦争の基地に
なることを絶対に許さな
い、と訴えられた。

このほかにも山口の被爆
後に、力強くシユブ
ヒールをあげて、被爆七
年の青空式典を終えた。
日韓同時行動の成果のし
に、反戦・反核・反原発、
被爆者解放の内実を豊富化
した取り組みとなつた。



「辺野古新基地建設を許すな」京都市内をデモ行進（8月11日）

今こそ労働者は反戦・国際連帯に立ち上がるう

小原 薫

ロシアによるウクライナ侵略の戦禍は収まることがない。米中対立は、無謀なアメリカ上院議長ペロシの台湾訪問という事態の中で、お互いに軍事訓練を行ひけん制し合っている。こうした事態を奇貨として日帝は「軍事力の増強が必要」だと米帝から武器を賣り込み、「戦争法」「重要土地規制法」「経済安保法」を作り戦争体制への準備を進めている。一方、安倍元首相の射殺によって旧統一教会なる反共詐欺師集団に自民党が侵食されている事態が明らかになっている。安倍元首相はこの団体だけではなく「日本会議」や「神社本庁」などの宗教右派と深いつながりを持ちながら改憲への道を先導していた。だからこそ、安倍を引き継ぐ岸田首相は労働者人民の反対の声を押し切り「国葬」を强行することを早々と決めた。

労働者階級は、再び差別排外主義の下で組織されるのか否かが問われる時代の中

にいる。この情勢の中でわれわれは「今こそ労働者は差別排外主義に抗し反戦・国

際連帯に立ち上がるう」と呼びかけ、闘いを組織しよう。そのため、戦前の労働

者の国際共同闘争の意義と限界を探る直していくことが重要である。

中国における

日中労働者の共同闘争

日帝は、一八九四年日清戦争の過程において一月、中国遼東半島で中国人の虐殺を行いながら旅順を占領した。そして、翌九五年「日清講和条約」を結び「清朝から中國遼東半島、台灣の割譲」を行った。三国干渉によって遼東半島は一時手放したが、日露戦争を経て日帝は一九〇五年、旅順・大連一帯の付近（関東州と呼ばれていた）と南満州鉄道との付属地をロシアから引き継いだ（ボーッマス講和条約）。この後、一九一〇年に日帝は韓国併合を行つた。こうしてアジア侵略は進められた。

この日帝が占領した地域には日本の産業構造の転換を象徴するような大企業が次々と進出した。その一つに川崎造船がある。一九一年のメーテーでは東京では「植民地解放」を決議し、大

割に値上げしろ等々の要求を決めるために職場大会に移るうとした時、突然襲来した官犬ども……直ちにデモに移り……素手で兄弟たちは屈せず二時間余に渡つて闘い続けたが……一二〇二四日の「暗黒の木曜日」と呼ばれたウォール街の大暴落は、未曾有の世界恐慌の合図となつた。日本にもその波は直撃し、中小企業は次々倒産し、労働者の賃金も下落した。こうした中で、日帝は、一九三一年の満州事変（柳条湖での満鉄爆破）と侵略戦争へと歩を進めていた。

こうした中でも一九三〇年には労働者が連合してストライキを九日間行つたが、不当逮捕などの弾圧が行われて要求は叶わなかっただ。一九二〇年にはこの工場でリストラ反対の共同ストライキを中国人一二〇〇名日本人一三六五名で四〇日間行い勝利している。

こうした中でも一九三〇年に鬱われた岸和田紡績女工・朝鮮人女工の共同闘争が行なわれて、岸和田紡績の女性労働者の闘いも戦前の労働運動の大きな闘いとして特筆されているが、この闘いに朝鮮人女工たちも参加し果敢に闘い抜いた。

また、東京の多摩川では砂利採掘を多くの朝鮮人の人たちが担つていた。砂利採取の現場では「一九三〇年代に入ると河原での手掘りの採取が禁止されるようになり、次第に機械を使う大規模な採取業者に低賃金で雇用されるようになつて」（『東京の中の朝鮮』）在日韓国・朝鮮人生徒の教育を考える会編いた。

こうした中で一九三一年砂利争議の際、日鮮労働者は合同して起ち、要求の全権を譲り受けた。然るに雇用権を求める闘いが果たされた。この裁判闘争は第三誘導路とB滑走路が、六年に定めた基本計画から逸脱していることを証明する（〇六年）、第三誘導路建設

迫ったときは、一〇〇名の朝鮮人労働者は起つたが日本人は起つた。日本人は新しい仕事を世話を運転史）といふように、共にこそ我が同盟の中心的任務である（在日朝鮮人連盟）二三年の関東大震災時の朝鮮人・中国人等の大虐殺とならない再び吹き荒れた。差別排外主義の下に労働者民衆が組織されてしまつたことは、アジア太平洋侵略戦争に動員されていった大きな要因になっている。労働運動の現場においても、日本人労働者は優柔され戦線に動員されていった大きな要因になっている。労働運動の現場においても、日本人労働者は優柔され戦線から離脱した。

こうした教訓をしつかりと捉え返すことが今こそ重

要になっている。中国や朝鮮への排外主義的言説が巷にあふれている。日本人労働員し、二三億円を費やし

がためのやむにやまれぬ要

求だ。内務省は悪辣なる資本家合同組合に、これまで

がためのやむにやまれぬ要